

## 人工魚礁に集まる魚介類

### 研究分野

水産資源を増やす

### ねらい

- ・富山湾の沿岸には、魚の生息場を増やす、あるいは放流する稚魚を保護、育成するために、鉄、木材、タイヤなどで作られた、ジャングルジム型、電柱型などの様々な形をした人工魚礁が約300基設置されています。人工魚礁の設置後、その内部や周辺に、どのような魚がどれくらい生息しているかを把握するために、数基の人工魚礁を対象に潜水観察を行いました。

### 成果

- ・人工魚礁の内部ではキジハタ、クロソイなどが隠れているのが観察されました。また、その周辺では、アジ類、ブリの幼魚、シマイサキなどの群れが観察されました。
- ・その他、魚の仲間以外では、多くの人工魚礁で、イワガキが密集し生息しているのが観察されました。

### 活用

- ・人工魚礁の内部やその周辺に生息する魚の種類や数が明らかになれば、人工魚礁の効果判定やより良い設置条件の検討に役立てることができます。



【人工魚礁に群れるシマイサキ】



【人工魚礁に密集し生息するイワガキ】

研究実施期間 平成14年度～平成17年度  
問い合わせ先 富山県水産試験場(076-475-0036)